

1.回復状況

圏域	R元 (実績値)	R5 (速報値)	H31(R1)年比	回復率の分析
気仙沼・本吉圏	42 万人泊	40 万人泊	95.2%	気仙沼市は、三陸道気仙沼湾横断橋の供用開始やみなとまつりなど各種イベントの充実のほか、連続テレビ小説や映画の舞台地として取り上げられたことによる知名度の向上などが宿泊観光客数増に寄与した。 一方、南三陸町は、国内又は台湾からの教育旅行や各種イベントを開催しているものの、三陸道の延伸により立寄り先としての傾向が一層強くなっている。

2.数値目標の設定

R9 (目標値)	目標値設定理由
48 万人泊	気仙沼市については、市の総合計画や気仙沼観光推進機構のKPIの考え方並びに令和 6 年の対前年増加率を考慮し、31万人泊と設定 南三陸町については、気仙沼市の設定の考え方を参考にしながら、町の観光施策の方向性を踏まえつつ、宿泊施設における客室数も考慮し、17万人泊と設定

【参考】 宿泊観光客数(気仙沼・本吉圏域)

	R1	R5	R6		R7		R8		R9	
				前年比		前年比		前年比		前年比
圏域計	416,198	404,156	418,544	104%	439,471	105%	461,444	105%	484,517	105%
気仙沼市	244,046	258,653	271,586	105%	285,165	105%	299,423	105%	314,394	105%
南三陸町	172,152	145,503	146,958	101%	154,306	105%	162,021	105%	170,123	105%
	42万人泊	40万人泊							48万人泊	

【参考】 客室数(気仙沼・本吉圏域)

(単位：室数)

	R1	R2	R3	R4	R5
圏域計	1,977	1,958	1,883	1,822	1,595
気仙沼市	1,433	1,419	1,412	1,354	1,131
南三陸町	544	539	471	468	464